YOUKITA TSU-SHIN

Oh! Ki! Beach

Editor's Note

Welcome Summer!

2017年の発刊から数えて、今号で58号目。「ようきたね！」という歓迎の想いから始まった『YOU来た通信』が、今号から新しく生まれ変わります。脈々と続くその温かい想いを引き継ぎ、これからは「土佐清水と住む人をつなぐローカルライフマガジン」としてまちのワクワクをお届けします。皆さんがまちへ飛び出すきっかけとなり、あちこちで「ようきたね！」の笑顔が交わされますように。

This marks the 58th issue of YOU-Kita Tsushin since its launch in 2017. Originally started with the welcoming spirit of "Welcome!"("Yo-kita-ne!"), the magazine has been fully renewed with this issue.While cherishing this long-standing warm heart, we will now deliver the town's excitement as "a local life magazine connecting Tosashimizu with its residents". We hope this magazine inspires you to explore the town, and that smiles of "Welcome!" will spread all over Tosashimizu.

by I.Hiroyuki

編集・発行
土佐清水市移住促進事業（事務局：まちづくり会社ドラマチック）
〒787-0392 高知県土佐清水市天神町11番2号（土佐清水市企画財政課 地域づくり支援係）
Tel: 0880-82-1181　Mail: iju@city.tosashimizu.lg.jp

TOSASHIMIZU CITY KOCHI

YOUきた通信 NO.58 2026年8月-9月

＜YOUきた通信＞、装い新たにNEW発信!!

YOUKITA TSU-SHIN

No. 58
2026 Aug.-Sept.

Welcome Summer!

TOSASHIMIZU CITY KOCHI

Eat :バーガー

ジョン万の大河ドラマ決定でわき立つ土佐清水で、アメリカ・イタリア・日本の各国の魅力が注ぎ込まれた独自バーガーを発見。暑い夏はバーガーにかぶりつこう。

TOMO'S DRIVE-IN 土佐清水市大岐 2830-92

圧倒的な肉厚感と旨味が溢れるハンバーガーは食べ応え抜群！お店特製の手作りドーナツもおすすめ♪神奈川から移住した店主 井上友之さんが観光や移住の相談にも乗ってくれるアメリカンダイナー。 ハンバーガー単品¥850〜

久松製パン所 ポミエ 土佐清水市天神町 1-16

特製フォカッチャのバンズに、イタリアのソーセージ「サルシッチャ」を使用したパティを挟んだ、こだわりの本格イタリアバーガー！今年からの新商品♪ 家業を継いだ久松 厚紀さん（Uターン）と舞子さん（Iターン）による地元に愛されるパン屋さん。 イタリアバーガー¥421

だしの郷 たけまさ商店 土佐清水市中浜 507-8

パテの中に宗田節の旨味を凝縮し、大豆ミートでヘルシーに仕上げた一品。ここでしか味わえない、だしの郷の新たな逸品をぜひ。家業を継いだ島谷早苗さん（Uターン）、真矢さん（Iターン）が営む「だし」の魅力を体感できるお店。

だしバーガー¥500 ※土日祝のみ提供

Check Instagram>>>

TOMO'S DRIVE-IN

久松製パン所 ポミエ

だしの郷 たけまさ商店

Welcome Summer!

Play :暮らしを遊ぼう

知らない遊びを日常にするには新しい地図と技術が必要。今回はそんなヒントになるスポットと体験をご紹介。暮らしに取りいれたい五味川・加久見川。

Welcome Summer!

桜浜海水浴場など海はもちろん、でも時々は川もどうぞ。

1.五味川 初夏には「五味ほたる橋」周辺で幻想的なホタルの乱舞が楽しめます。夏休みには子どもたちが楽しそうに賑わう声も♪
場所：下ノ加江橋付近

2.加久見川 橋の下を流れる澄んだ小川と、周囲の豊かな緑、穏やかな民家が、日々の喧騒を忘れさせてくれます。
場所：加久見の集落の奥

Other Fun :体感・体験オムニバス

ジオツアー

ジオパークエリアの大地や自然、地元の暮らしが体感できる「ジオツアー」が15種類も！

うみのわ

海や食の体験プログラム

「旬の魚でデカ盛り丼」や「サーフィン」も。観光協会には18種類の体験がズラリ。

土佐清水市観光協会

YOUKITA TSU-SHIN

Life Goes On
YOU
KITA
TSU-SHIN
Oh!Ki! Beach
Thank you

Interview
Ayumi Takagi

YOUきたインタビュー

「わざわざ来たい」人が集まる場所。
海・川・物々交換・DIY、
都会では味わえなかった贅沢な暮らし。
髙木あゆみさんインタビュー

Q：土佐清水へ移住したきっかけを教えてください。

A：約2年前の6月に神奈川県の湘南エリアから移住しました。夫婦でサーフィンをするため高知へ度々訪れていて、大岐の浜で井上夫婦と出会ったのが最初の繋がりでした。その後、湘南の海の混雑から移住を本格的に考え、宮崎県と迷いましたが、土佐清水に決めました。決め手は山と海の美しい景色やおいしい食事に加え、交通の便が悪いからこそ「わざわざ来たい」と思う人が集まる場所であることです。移住してきた人たちの強い「土佐清水“愛”」に惹かれました。

Q：暮らしの方はいかがですか？休日の過ごし方などを教えてください。

A：休日は家族で大自然を満喫しています。夏は朝8時頃から海で遊び、日差しが暑くなる10時頃には涼しい川へ移動し、その後また海へ戻るという、海と川の贅沢なローテーションを楽しんでいます。

Q：移住して、神奈川にいた時と暮らしの工夫など変わったことはありますか？

A：神奈川にいればちょっと行けば何でも買えましたが、こちらではわざわざ買いに行かないと手に入らないものが多いので、自分で作るDIYが増えました。例えば、庭で野菜を育てたり、畑の土も全部買うのではなく、山に腐葉土を取りに行ったり。スキンケア用品も手作りすることが増えました。

Q：その「ひと手間」をかけるのは大変ではないですか？本当はもっと便利だったらいいのに、と思ったりは？

A：便利だったらいいとはあまり思わないですね。せっかくならお金をかけずに、その工夫する時間を楽しみたいと思っています。それに、ご近所さんとの魚やジビエ、野菜の物々交換も増えました。神奈川ではなかったこうしたやり取りが、今とても新鮮です。

Q：移住を考えている人へのメッセージをお願いします。

A：もし今の暮らしに満足していないなら、完璧を求めず、早く環境を変えて動き出すことが一番です。私も最初は「1年後でもいいかな」と迷っていましたが、夫の「したいと思った時に動かないと実現しない」という言葉で決断しました。「行く」と決断して本気で動けば、家や仕事は必然的に決まっていくと思います。

インタビュー全編を載せたつづきはWEBへ >>>

Ayumi Takagi
神奈川から約2年前に家族で土佐清水市へ移住。現在は「魅力化コーディネーター」として高校のPR業務を担うほか、高齢者向けスマホ教室を主宰。